

FI/Tr

大正 12 年水害



Ver.1(2020/2/1)

## 災害伝承 DATA

所在地：長野県木曾郡大桑村  
緯度・経度：北緯 35 度 41 分 8.9 秒  
東経 137 度 42 分 4.9 秒  
伝承形式：石碑・石塔・石仏  
種類 / 要因：洪水・湛水 / 集中豪雨  
災害発生：1923 年（大正 12 年）7 月 18 日  
建立時期：1924 年（大正 13 年）  
指定等：なし  
周辺地形：山地・溪谷



観光情報はこちら

### 言い伝え・伝説

大正 12 年 6 月中旬からの雨で地盤がゆるんだ所に、7 月 17 日からの集中豪雨で村内の多くの河川が氾濫しました。県内外で被害がありましたが、大桑村の被害がとくに大きいものでした。水害の 1 年後に記念碑や地蔵尊が建てられました。

### 周辺案内

中仙道の宿場町「須原宿」「野尻宿」で、人々の日常に受け継がれてきた歴史を感じてください。「阿寺溪谷」で澄み切った水の流れが造る美しい景観をお楽しみください。そして「のぞきど森林公園」でのどかな里山風景に癒されてください。自分にとって心地よい何かが見つかるそんな大桑村です。